

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- 1) 満期保有目的の債券  
償却原価法（定額法）を採用している。
  - 2) 匿名組合出資金  
匿名組合損益のうち、当財団法人に帰属する持分相当損益を「経常外損益」に計上するとともに、「投資有価証券」勘定を加減する方法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- 1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定率法を採用している。なお、主な耐用年数は以下のとおりである。  
什器備品 2～13年
  - 2) 無形固定資産  
定額法を採用している。なお、当財団利用のソフトウェアについては、当財団内における利用可能期間（5年）に基づいている。
  - 3) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。
  - 4) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。  
なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- (5) 税効果会計の適用について  
税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。
- (6) 消費税等の会計処理  
税込方式を採用している。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

| 科 目         | 前期末残高      | 当期増加額   | 当期減少額     | 当期末残高      |
|-------------|------------|---------|-----------|------------|
| 基本財産        |            |         |           |            |
| 投資有価証券      | 29,985,000 | 0       | 0         | 29,985,000 |
| 普通預金        | 15,000     | 0       | 0         | 15,000     |
| 小 計         | 30,000,000 | 0       | 0         | 30,000,000 |
| 特定資産        |            |         |           |            |
| 受入保証金引当資産   | 10,334,400 | 520,000 | 3,647,400 | 7,207,000  |
| 退職給付引当資産    | 7,713,986  | 210,670 | 0         | 7,924,656  |
| 自主事業準備金引当資産 | 31,996,700 | 0       | 0         | 31,996,700 |
| 小 計         | 50,045,086 | 730,670 | 3,647,400 | 47,128,356 |
| 合 計         | 80,045,086 | 730,670 | 3,647,400 | 77,128,356 |

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目         | 当期末残高      | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額)   |
|-------------|------------|------------------|------------------|----------------|
| 基本財産        |            |                  |                  |                |
| 投資有価証券      | 29,985,000 | ( 16,000,000 )   | ( 13,985,000 )   | ( )            |
| 普通預金        | 15,000     | ( 0 )            | ( 15,000 )       | ( )            |
| 小 計         | 30,000,000 | ( 16,000,000 )   | ( 14,000,000 )   | ( )            |
| 特定資産        |            |                  |                  |                |
| 受入保証金引当資産   | 7,207,000  | ( )              | ( )              | ( 7,207,000 )  |
| 退職給付引当資産    | 7,924,656  | ( )              | ( )              | ( 7,924,656 )  |
| 自主事業準備金引当資産 | 31,996,700 | ( )              | ( 31,996,700 )   | ( )            |
| 小 計         | 47,128,356 | ( 0 )            | ( 31,996,700 )   | ( 15,131,656 ) |
| 合 計         | 77,128,356 | ( 16,000,000 )   | ( 45,996,700 )   | ( 15,131,656 ) |

4 担保に供している資産

該当事項なし

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目      | 取得価額        | 減価償却累計額     | 当期末残高      |
|----------|-------------|-------------|------------|
| 有形固定資産   |             |             |            |
| 什器備品     | 156,746,344 | 124,231,559 | 32,514,785 |
| 無形固定資産   |             |             |            |
| ソフトウェア   | 133,686,602 | 114,647,699 | 19,038,903 |
| 特許権使用許諾権 | 2,625,000   | 1,786,458   | 838,542    |
| 合 計      | 293,057,946 | 240,665,716 | 52,392,230 |

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項なし

7 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目                               | 帳簿価額       | 時 価        | 評価損益      |
|-----------------------------------|------------|------------|-----------|
| (基本財産)<br>21年度第6回<br>札幌市公募公債(10年) | 29,985,000 | 31,350,000 | 1,365,000 |
| 合 計                               | 29,985,000 | 31,350,000 | 1,365,000 |

9 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者      | 前期末残高 | 当期増加額       | 当期減少額       | 当期末残高 | 貸借対照表上 |
|---------|----------|-------|-------------|-------------|-------|--------|
| 補助金     |          |       |             |             |       |        |
| 国庫補助金   | 北海道経済産業局 | 0     | 16,720,680  | 16,720,680  | 0     |        |
| 札幌市補助金  | 札幌市      | 0     | 292,608,061 | 292,608,061 | 0     |        |
| 合 計     |          | 0     | 309,328,741 | 309,328,741 | 0     |        |

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 内 容              | 金 額     |
|------------------|---------|
| 経常収益への振替額        |         |
| 基本財産受取利息計上による振替額 | 217,600 |
| 合 計              | 217,600 |

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

12 重要な後発事象

該当事項なし

13 その他

(1) リース取引関係

ファイナンス・リース取引

1) 所有権移転ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

管理運営受託事業におけるビル管理制御装置及び電話システム(什器備品)である。

2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

管理運営補助事業およびデジタル創造プラザ事業における情報系ネットワーク機器、コンテンツマーケット支援システム構築機器、デジタル工房構築機器である。

(2) リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係

1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

|            | 什器備品      |
|------------|-----------|
| 取得価額相当額    | 9,313,920 |
| 減価償却累計額相当額 | 9,313,920 |
| 期末残高相当額    | 0         |

2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

|                | 1年以内 | 1年超 | 合 計 |
|----------------|------|-----|-----|
| 未経過リース料期末残高相当額 | 0    | 0   | 0   |

3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位：円)

|          |           |
|----------|-----------|
| 支払リース料   | 2,280,600 |
| 減価償却費相当額 | 1,995,840 |
| 支払利息相当額  | 69,556    |

4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

(3) 退職給付関係

1) 採用している退職給付制度の概要

札幌市中小企業共済センターの退職金共済掛金制度と当財団の退職一時金制度を併用している。

2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

|                |           |
|----------------|-----------|
| 退職給付債務         | 7,924,656 |
| 会計基準変更時差異の未処理額 | 0         |
| 退職給付引当金 ( + )  | 7,924,656 |

3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 勤務費用            | 210,670 |
| 会計基準変更時差異の費用処理額 | 0       |
| 退職給付費用 ( + )    | 210,670 |
| 臨時退職金           | 0       |
| 合 計 ( + )       | 210,670 |

4) 退職給付債務等の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

5) 会計基準変更時差異の処理年数 1年

(4) 税効果会計関係

1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：円)

|                  |           |
|------------------|-----------|
| 未払事業所税否認         | 176,253   |
| 繰延税金資産 (流動資産)    | 176,253   |
| 繰越欠損金            | 5,382,927 |
| 退職給付引当金損金算入限度超過額 | 1,601,914 |
| 繰延税金資産 (固定資産)    | 6,984,841 |
| 繰延資産小計           | 7,161,094 |
| 評価性引当額           | 7,161,094 |
| 繰延税金資産合計         | 0         |

2) 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位：円)

| 項 目                         | 非収益事業     | 収益事業       | 合計         |
|-----------------------------|-----------|------------|------------|
| 税引前当期一般正味財産増減額 (A)          | 2,996,456 | 12,115,532 | 15,111,988 |
| 寄付金損金算入限度額 (B)              | 0         | 0          | 0          |
| 小計 (C) = (A) + (B)          | 2,996,456 | 12,115,532 | 15,111,988 |
| 法人税、住民税及び事業税 (D)            | 0         | 70,000     | 70,000     |
| 法人税等調整額 (E)                 | 0         | 0          | 0          |
| 当期一般正味財産増減額 (A) - (D) + (E) | 2,996,456 | 12,185,532 | 15,181,988 |

3) 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

当期一般正味財産増減額がマイナスのため省略している。